

令和5年度第1回 松江市公共交通利用促進市民会議

1 日 時 令和5年5月22日（月） 14時00分～15時30分

2 場 所 松江市役所第一常任委員会室

3 出席者 別紙参照

4 内容

1 開会

2 あいさつ

3 議事

(1) 松江市地域公共交通計画の策定について

- ・ 松江市の公共交通の現状について
- ・ 松江市地域公共交通計画の概要及び策定スケジュールについて
- ・ 松江市地域公共交通計画策定業務の発注方法について

4 その他

5 要旨

1 開会

2 あいさつ

- ・ 松江市都市整備部為國部長があいさつをした。
- ・ 松江市公共交通利用促進市民会議加藤会長があいさつした。

3 議事

(1) 松江市地域公共交通計画の策定について

- ・ 松江市の公共交通の現状について交通事業者より説明された。（別紙参照）
- ・ 松江市地域公共交通計画の概要及び策定スケジュールについて承認された。
- ・ 松江市地域公共交通計画策定業務の発注方法について承認された。

4 その他

- ・ A I デマンド等について委員より意見が出された。（別紙参照）

1. 出席者名簿

会員名	役職名	氏名	備考
学 識 経 験 者	米子工業高等専門学校教授	加 藤 博 和	
松 江 市 公 民 館 長 会	会 長	三 宅 克 正	
松江市町内会・自治会連合会	常 任 理 事	森 正 剛	欠席
松江市高齢者クラブ連合会	会 長	安 達 伸 次	欠席
松江市身障者福祉協会	会 長	広 野 正 充	
松 江 市 連 合 婦 人 会	会 長	万 代 悦 子	欠席
松江市コミュニティバス利用促進協議会連絡会	会 長	長 野 正 夫	
松 江 商 工 会 議 所	常 務 理 事	金 井 寿 彦	欠席
連合島根東部地域協議会	執 行 委 員	丸 山 武	
島根県旅客自動車協会	専 務 理 事	秦 日 出 海	
一 畑 バ ス 株 式 会 社	代 表 取 締 役	吉 田 伸 司	
松 江 市 交 通 局	交 通 局 長	須 山 敏 之	
有限会社生馬タクシー	代 表 取 締 役 社 長	福 田 宏 二	
有限会社鹿島タクシー	代 表 取 締 役 社 長	物 部 淳 治	
西日本旅客鉄道株式会社	山陰支社地域振興本部交通まちづくり課長	森 雄 二	
一 畑 電 車 株 式 会 社	総 務 部 次 長	野 津 昌 巳	
国土交通省中国運輸局島根運輸支局	首席運輸企画専門官	橋 本 健 司	
島 根 県 松 江 警 察 署	交 通 総 務 課 長	松 浦 利 行	

【事務局】

松江市都市整備部	部長	爲國 岳彦
〃 交通政策課	課長	山崎 透
〃	係長	長谷川 丈洋
〃	副主任	深田 将平

2. 公共交通の現状について

J R

- ・特急列車、普通列車それぞれ落ち込んでいる。
- ・利用者は回復傾向であるが、生活様式の変化により、コロナ禍前の水準までは戻らないと考えている。(戻っても9割)
- ・鉄道以外の業務(多角化事業)もおこなっている。

一畑電車

- ・定期外(観光客)が大幅に落ち込んだ。
- ・定期は微減し続け、コロナ禍前から2割減っている。
- ・第三者との接触があることから、車通勤にシフトしたのではないかと考えている。

松江市交通局

- ・ヘビーユーザーに乗車いただき、定期利用の利用は微減であった。
- ・観光客・出張者の利用が減った。
- ・高齢者の利用は大幅に減った。

一畑バス

- ・交通局同様に観光客・出張者の利用が減っている。
- ・燃料費が高騰した時は、マイカーから公共交通への転換で利用者が増えていたが、今回は増えていない。
- ・貸切バスの利用は戻ってきているが、運転手不足で、利用を断るケースもある。

コミュニティバス

- ・コロナ禍で利用者は大きく減った。今後上向きになるよう、利用促進に取り組んでいきたい。
- ・松江市のコミュバス運行基準(1便当たり2人輸送)を満たせず、運行回数が減った。
- ・運行基準を満たせていないのが現状。基準を緩和してほしい。
- ・AI デマンドは立地条件やタクシー事業者との関係性から、どこでも運行できない。

タクシー

- ・病院、飲み会、出張での利用が大きく減った。
- ・病院利用、出張利用はコロナ前に戻り、飲み会での利用はここのところ戻りつつある。
- ・運転手募集しているが、募集はない。
- ・歩合給で、人を増やすと既存のドライバーは給料が減るため、反対の声もある。
- ・コロナ禍で生活様式が変わり、閉店した飲食店もあり、松江市の活力低下にも繋がる。

連合島根東部地域協議会

- ・2024 問題は松江市だけでなく、日本全国共通。
- ・運転手は長時間労働が基本で給料が成り立っている。
- ・時間外労働は青天井（いくらやってもいいとなっていた）、で極端な話、年中無休でやってきた。
- ・コロナ前までは、運転手が離職する場合、は同業他社へ移っており、運転手の総数は減っていなかったが、コロナで運転手から他の産業へ移ってしまい、運転手不足となっている。
- ・法律が変わり、運転手の門戸を広げてもらったが、今いる方の離職を止めるのも必要。
- ・労働組合としては、処遇を変えることを訴え続けている。
- ・収益率の低い産業で今まで人件費が下げられてきた。
- ・これからは基本給＋歩合給などの仕組みが必要。

3. その他

(1) AI デマンドについて

- ・運行エリアが広く、運賃が 200 円で利用者にとっては良い
- ・事業者側は、電話予約の対応で人件費が取られ利益が上がらない。(委託料が安い)
- ・今までコミュバス利用者が主な利用者であるが、今後、タクシー利用者を食ってしまわないか心配。(今のところ影響は出ていない)
- ・県内の事業者でも AI デマンドが利用できるので、県内事業を利用する配慮も必要。
- ・AI デマンドは目的ではなく手段。「AI デマンドのために」とはならない。

(2) 運賃改定等について

- ・全国的に運賃改定や運転手不足へ対応の動きがある。
- ・松江市でも直ぐにはないが、今後市民会議を通して、委員の皆様から意見を頂き議論していきたい。